

たまり場づくりプロジェクト 100129ay

身近な商店街、古馴染みの喫茶店、床屋、銭湯、井戸端、人々の絆を育んできた場所が急速に失われています。これは絆という人と人との結びつきの消失を通じて、地域の価値が急速に失われていくことを意味しています。一方失われてゆくこれらの関係を再構築すべく、まちづくりNPO等市民活動が絶え間なく試行され、多くの自治体でも地域住民・NPOと連携した地域づくりを政策として掲げています。このような市民活動は長く継続して活動することが少ないのが残念ながら実情です。にもかかわらず成功した市民活動の共通因子には関係者が気軽に集まることのできる「たまり場」の存在があります。「たまり場づくり」プロジェクトは現在問題となっているシャッター店舗等を活用することで、まちづくりの活動拠点をつくり、貸し手にも借り手にも地域にも元気をもたらすことを企図したプロジェクトです。

背景

- シャッター商店街の増加
- 1階にも空き店舗が増えている(1階の空きは建物 全体の価値を損なう)
- ほとんどの自治体が地域住民・NPOとの連携を政策として掲げている
- 地域づくりの成否の1因はプレイヤー(NPO等)の“たまり場”
- 絵画、書画、デザイン、陶芸等の個展・グループ展の身近な開催スペースへのニーズ
- 映画ポスターを活用した集客の可能性(別企画書参照)
- 短期開業型ショップのニーズ
 - ・化粧品やサプリメント等ウェブ販売に軸を置くメーカーの増加
これらのメーカーの悩みはサイトまでの誘導
 - ▶商品紹介と通販に誘導するための短期開業型ショップの可能性
 - ・ふるさと特産品フェア等の短期イベント型販売

内容

ウェブ上のマッチングサイトを構築。
「1Fの空きスペースを集客のために、ギャラリーとして無料で提供(入居者が決まるまで)」等の貸し手側情報掲載を想定。
個別の掲示板等コミュニケーションできるツールを設置。
運営者側は仲介等に入らずウェブ上のコミュニケーションツールの提供のみ。
収益は広告費(手数料や情報掲載料は取らない)を想定。

